

横須賀みんなの海プロジェクト ～海の幸を守る、育む、つなげる～

横須賀市（横須賀市ブルーカーボン推進検討会事務局）、長井町漁業協同組合、一般社団法人BlueArch

プロジェクトの概要

- ・平成2年頃 豊かな藻場が広がり、漁業が盛んだった
(例:当該地域 サザエの漁獲量 県内1位)
- ・平成24年頃から磯焼けが進行
→ 漁獲量の低下や生育の悪化

漁協を中心に、豊かな海を再生に取り組んできた

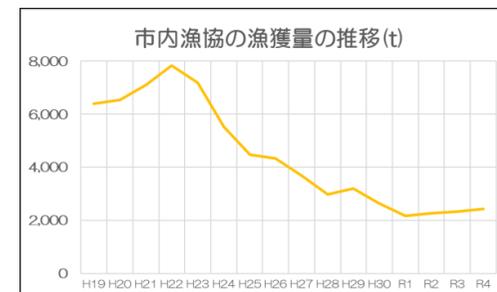
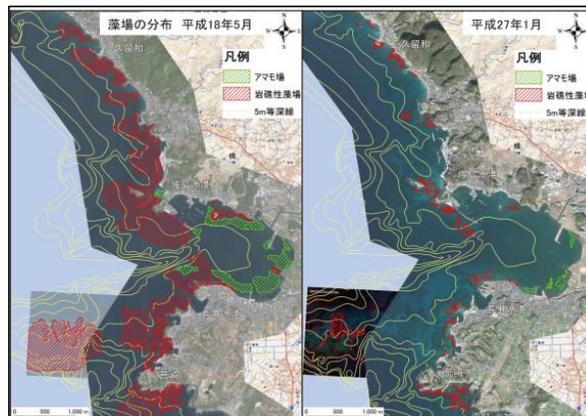
- ・食害生物(ウニ・アイゴ)の駆除
- ・藻場造成(カジメ)
- ・アワビの種苗放流
- ・地域の小中学校へへの出前授業

漁協	行政
漁協	行政
漁協	海洋高校
漁協	小中学校

→ 藻場を再生し、CO₂吸収源を創出 →

特徴・PRポイント

- ☞【工夫】民間企業との実証実験等を通じて、各地点の特徴に合わせた多角的な対策により藻場を造成
- ☞【民官連携】地域の学校、研究機関、行政などが連携しながら様々な取り組みを実施
- ☞【漁業振興】藻場の再生に伴い、漁業の回復を図る
- ☞【今後】地域の子どもたちと一緒に藻場造成を行うなど、環境教育の場として活用



平成18年から令和4年の間に岩礁性藻場は**98.5%減**、アマモ場は**95%減**となった
(横須賀西部水産振興事業団調査より)

藻場の再生に向けた取り組み



海藻類が消失した海

藻場の再生



海藻類が再生した海



食害生物の駆除



ミニストーン工法による藻場造成